

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	サクスクリエーション 合同会社	代表者	高橋 清彦	法人・ 事業所 の特徴	小規模多機能の他に居宅介護支援、地域密着型通所介護、訪問介護、障害者相談支援、有料老人ホーム、児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所があり、令和3年4月からは定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスも開始。幼児からお年寄りまで様々な交流に向けて、多機能性ある柔軟な支援をし、利用者の生きる力を広げ生活そのものを支援し、地域との関わりを大切にします。また、施設併設のカフェやアリガト書店など地域の方々にも気軽に利用して頂けるスペースもあり、更に繋がりを広げる取り組みをしている。当事業所は家庭的で落ち着いた雰囲気の中で穏やかに楽しく過ごして頂けるような関りとケアを心がけており「共に明日を生きる」をキーワードに利用者のご自宅での生活を支援しています。地域との交流も積極的に行い、地域に開かれた施設を目指しています。
事業所名	サクス小規模多機能型 居宅介護やすらぎ	管理者	中島 佳太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の理解を深めるために今年度も自己評価前の事前研修は年間の研修に位置付け、研修を実施する。 ・個別評価から総括表までのフローチャートを作成し、運営推進会議の場で委員の皆様サービス評価の仕組みと当社の実践状況を報告し、取り組んでいる経過を具体的に知って頂く工夫をする。 ・前回の改善計画に掲げた「軒下マップ」の作成は達成できておらず、地域での暮らしを支えるために改善すべき課題なので今回の改善計画に再掲げしたい。記入例と統一した書式を使い、カンファレンス等で担当班、計画作成者、管理者で話し合い作成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も自己評価前に理解を深めるための事前研修を行った。全員一度に集まって行うのは難しかったので講師役を分担して業務時間内で事前研修の時間を設けて行った。 ・改善計画の通り、個別評価から総括表までのフローチャートを活用しながら取り組んでいる経過を運営推進会議の時間で報告して具体的に知って頂けた。 ・前回の改善計画に掲げた「軒下マップ」は記入例と統一した書式を使い担当班ごとに分担で進める事ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの意見一つ一つが自己評価に反映されており、より良い改善計画を作成しようという姿勢が感じられた。 ・コロナ禍でも地域との交流ができるように広報誌を発行する等できることから実行している様子が伺えた。 ・事業所全体で取り組まれている事が資料からもよく分かりました。 ・組織として地域社会へ貢献する事が求められ、個への対応と地域との繋がり両方を意識して経営をしないといけないので大変だと思いますが富田地区の方々とも交流があり、地域の周知度も上がり、努力が形になってきているように感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き自己評価前の事前研修を実施する。事業所評価実施者の育成を行い評価実施のできる職員を増やす。 ・運営推進会議の場で委員の皆様サービス評価の仕組みについて事前説明しながら進めていく。 ・施設が地域に貢献できる事として認知症に関する勉強会を実施。運営推進会議の場で地域の方々から意見を聞きながら計画して実施する。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着ける空間・安全に過ごせる空間にするために定期的な施設内外の環境整備を継続して行う（不要な物品の仕分け）（整理整頓） ・引き続きコロナ感染状況に応じた柔軟な対応をしていく。マスク着用・お茶、食事前の手指消毒・定期的な換気（10時・12時・15時・18時）・テーブル、アクリルパーテーションの消毒等コロナ感染予防対策を整えた環境作りも継続して行う。 ・利用者に安心して幸せに過ごして頂ける環境を作るための一つとして接遇マナー（挨拶、声かけ・言葉遣い・表情・態度・身だしなみ）に関する社内研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央廊下の棚の書類や備品類は利用者や来客者の目につく場所でもあるので一つの棚にまとめたり不要な物は破棄して整理整頓し環境整備を行った。 ・施設内外の定期的な環境整備と年末の大そうじも分担して実施した。 ・コロナ感染対策は状況に応じて柔軟に行い継続している（マスク着用・食事前のテーブル、手指消毒・定時の換気等。アクリルパーテーションについては利用者同士のコミュニケーションも取りづらい事もあるので現場で話し合い、会社に相談して撤去する事にした。 ・接遇マナー（挨拶、声掛け・言葉遣い・表情・態度・身だしなみ）に関する社内研修をミーティングの時間で行ったり、今期の事業所目標にも掲げ、朝礼で復唱するなどして職員の意識づけを図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・併設のカフェなどもあり、地域の方も立ち寄りやすい環境になっている。 ・事業所内も片づいていて清潔だった。 ・事業所内の職員の様子（利用者への声かけや挨拶）や利用者の様子から事業所内が過ごしやすい環境になっていると感じた。 ・空間として居心地の良い環境をつくるには気持ちにゆとりが必要だと思います。働いている人も居心地が良い環境づくりを心がけてほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の環境整備は役割分担して引き続き継続して行う。 ・基本的な感染予防対策の継続実施（うがい手洗い）（換気・消毒）感染状況に応じて柔軟に対応していく。 ・事業所の質を上げるための定期的な社内研修の計画と実施を行う。 ・中重度の利用者も増えてきており、職員の腰への負担を軽減するためと安全に入浴して頂くための環境整備として小規模・デイスターサービス共有の風呂にリフトキャリーが導入された。今後、有料老人ホームの風呂にも入浴リフトの導入を検討している。
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期で開催されている環境美化運動は引き続き参加させて頂き、他の地域行事についてはコロナ感染蔓延防止の観点等から開催の可否について可能であれば参加させて頂く。 ・コロナ感染予防対策を行いながら、サンクスでのイベント（お祭り・朝市・ふれあいサロン等）や地域向けの勉強会を再開して地域との関りを徐々に増やしていく。イベントの際、介護相談ができる場を設けて地域に必要とされる事業所になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化運動は今年度も参加する事ができた。 ・地域のイベント（ふれあいサロン）についてもコロナ感染予防対策を行いながら利用者と一緒に参加する事ができた。 ・サンクスでは6月に朝市を開催してたくさんの地域の方に来て頂いた。その際に介護相談ができるブースも設けたが実際に相談される方はいなかった。 ・サンクスでの活動を地域の方々にも知って頂くために、「サンクスだより」を年2回（春夏号・秋 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍では、地域との交流の機会は減ってしまったかと思われるが、地域活動に参加していることが確認できた。 ・地域の行事も再開し、交流の機会がまた増えてくると思います。地域の方々にも施設の事を知って頂くよい機会であり、交流を深められるよう続けていってほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で計画されている行事への参加。（環境美化運動・ふれあいサロン・防災訓練等） ・サンクス主催、地域向けの行事の計画と実施を行う。（朝市など計画中） ・広報誌「サンクスだより年/2回」の発行継続と回覧板の活用。

		冬号) を作成して回覧板に載せて発信する事ができた。		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域で生活をする事ができるように、人間関係や地域資源を知る「軒下マップ」を各担当班で作成する（再掲げ） 記入例と統一した書式を使い、カンファレンス等で担当班、計画作成者、管理者で話し合い作成していく。 ・今後も引き続き地域の方々とのネットワークを活用し、利用者が安全に地域で暮らせるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画に掲げた「軒下マップ」は記入例と統一した書式を使い担当ごとに分担で少しずつ進める事ができているが、地域資源の広げ方や軒下マップを作成した後の活用方法などがよく分からないという声があった。 ・担当者会議への参加でその他サービス機関と関わり、地域ケア会議の開催で地域住民・包括支援センター・市の職員等とも面識を持ち連携する事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と地域との繋がりを把握するためにも、苦勞しながら軒下マップを作成されている事が運営推進会議を通して分かった。 ・地域の図書館に利用者連れて行き、館内で選書する（もしくは雰囲気を楽しむ）イベントを行っている事が会議内で報告されたが、このような活動も地域資源の活用だと感じた。 ・軒下マップ作りは孤立している利用者もいる中で作成はとても難しい事だと思うが、少しずつでも作成して近所との繋がりを広げるような取り組みになればと感じた。 ・軒下マップでその人の暮らしぶりが良く分かりました。活用方法も工夫して個別ケアに活かしたり、地域の社会資源を把握するツールにしてほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域に出向いて収集できた情報は一人ひとりの軒下マップに記入し、本人の暮らしを支える資源として活用する。 ・独居高齢者の非常災害時にも役立てられるようにする。（緊急時、職員が到着する前に隣近所の方には進入口など知らせておく必要があるため、担当者会議の場で本人・家族の同意のもと情報共有を行う）
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に活動や行事等の取組みができるだけ分かりやすくなるために資料に活動写真を添付したり、運営推進会議の際に動画を見て頂くなど、報告のやり方を工夫する。 ・地域の方々から頂いた貴重な感想や意見を職員全体で共有し、具体的な取組み方を話し合い、改善に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況の写真を撮影して運営推進会議の場で写真を見て頂きながら報告をする等の工夫をして活動状況を分かりやすく伝えた。 ・運営推進会議の中で「地域行事」「地域の様子、困りごと」(若者が組に入らない、登録者以外の高齢者の話題) 等あがることもあったが、改善に繋げる具体的な事はできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での事業所の取組み等の説明は非常に分かりやすいものになっている。 ・今後も運営推進会議で出た意見を事業所内で共有してほしい。 ・運営推進会議に参加させて頂き、サンクスの活動や取り組みについて良く理解できました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議題を年間で計画し、話し合いたい内容を事前説明して進めていく。 ・認知症サポーター養成講座の開催。第一回目は包括主催でスタート。今後、事業所と地域のかかわり(C)の項目に移行し、地域向けの集まりにしていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害を想定して地域との連携を深めるために地域合同防災訓練を計画する。実施日については地域と話し合いながら決めていく（7月・11月頃を希望） 事前に訓練の流れを地域の方々と話し合いフローチャートを作成し、地域の方々と職員間で共有しておく。 ・感染症・自然災害の非常災害時業務継続計画（BCP）の策定を進める。災害時、計画通りスムーズに対応できるようにBCPの訓練の実施も計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月と12月に防災訓練を実施したが、社内での事前の打ち合わせと地域の方との日程調整などが不足していたので地域と合同での訓練は実現できなかった。 ・感染症・自然災害の非常災害時業務継続計画（BCP）の策定はできたが、実際の場面を想定したシミュレーション訓練は計画でできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の合同行事として防災訓練を実施しており、備蓄の確認がされている事が会議内の報告により分かった。 ・災害時の職員の動きについて、管理者が不在の時や、人手が無い時にどのように動けばよいか、指示する人がいない場面でも職員一人一人が動けるように訓練を行ってほしい。 ・災害時対応はリスクマネジメントにおいても重要であり、優先順位の高い課題だと思います。もしもの状況を想定した準備をし、誰でも対応できるように訓練が必要だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域合同の防災訓練の計画と実施。施設では気温や天候などを想定した訓練を計画する。 ・感染症発生時における非常災害時業務継続計画（BCP）の計画にある段階別の項目は実践できているが、毎回計画通りに対応できるように繰り返しシミュレーションと訓練を実施する。 ・日常的に「今日の役割」を決める。自然災害はいつ起こるか分からないので、管理者不在の時でも誰でも対応できるようにその日の役割を決める。 ・毎月1回全体ミーティングの時間に防災会議を行う。（人命保護最優先・避難経路の確保・緊急連絡先の確認・備蓄品確認など）
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

